

「岩槻 歴史と雛めぐり」

日時：平成24年3月10日（土）8時45分集合
集合場所：岩槻駅前
参加費：1,000円（保険代、昼食・飲食代含む）

※ご案内の請求、詳細につきましては事務所へご連絡ください

国会見学会

平成24年2～5月は毎月開催
現地集合・解散
参加費は無料

開催予定日
2月22日（水）、3月23日（金）
4月18日（水）、5月21日（月）

たけまさ公一を支え、応援する
ボランティアスタッフ大募集！

～募集しています～

党員費 年間6,000円
サポーター会費 年間2,000円

がんばれ基金

たけまさ公一を応援する個人献金です。
(1口500円)×12ヶ月=6,000円より

*現金 *振込み *自動引落とし

☆個人献金は、寄付金控除対象になります。

*詳細については事務所へご連絡ください

上記イベントについてのお問い合わせ、申し込みは・・・

TEL 048-832-3810 FAX 048-832-3846

E-mail: voice@takemasa-k.jp ...までお願いいたします。

衆議院議員たけまさ公一 プロフィール●昭和36年(1961年)生まれ。

●さいたま市立木崎小、木崎中、県立浦和高校、慶応義塾大学法学部政治学科卒業。

平成元年、松下政経塾卒業 ●平成11年4月、埼玉県議会議員4期目当選。

●平成21年8月30日、衆議院議員4期目当選●鳩山内閣外務副大臣、第一次菅内閣外務副大臣

(国会) 予算委員会次席理事、郵政改革特別委員会筆頭理事

(民主党) 常任幹事、財務委員長、税制調査会副会長、地域主権調査会顧問(埼玉) 県連代表

たけまさ公一事務所・所在地

■浦和事務所 さいたま市浦和区北浦和3-6-11松本ビル2階

TEL:048-832-3810 FAX:048-832-3846

■岩槻事務所 さいたま市岩槻区本町5-5-12

TEL:048-749-6801 FAX:048-749-6802

■国会事務所 千代田区永田町2-1-2第2議員会館312

TEL:03-3508-7062 FAX:03-3519-7715



国政・新時代!

埼玉県(第1区版)
平成24年2月16日号

民主党プレス民主編集部
東京都千代田区永田町1-11-1
電話 03-3595-9988(代表)
民主党埼玉県連広報局
さいたま市浦和区高砂3-6-16
電話 048-833-3500
FAX 048-833-3503
URL http://minshu.org
E-mail info@minshu.org

～たけまさ公一衆議院議員国会レポート～ 第133号



- 4次補正で経済対策、一重ローンへも対応 2月8日
- 衆院予算委で政権交代の成果を検証 2月9日
- 復興庁が発足 2月10日
- 民主党埼玉県第1区地方議員並びに県政・市政担当者

ブログ「今日のたけまさ」日々更新中!

<http://ameblo.jp/takemasa-koichi/>

皆様のご意見・ご要望をお待ちしています
voice@takemasa-k.jp (アドレスを変更しました)



4次補正で経済対策、二重ローンへも対応 (2月8日)

約2.5兆円規模の平成23年度第4次補正予算が2月8日、参院本会議で民主、自民、公明など与野党の賛成多数で可決、成立しました。4次補正には経済対策として、エコカー補助金(3,000億円)のほか、円高やタイの洪水被害などにあえぐ中小企業に対して日本政策金融公庫が低利融資する「セーフティネット貸付」の資金(3,402億円)、民間金融機関の債務保証(セーフティネット保証)を担う信用保証協会の財務基盤を強化する資金(4,011億円)を盛り込みました。併せて補正予算とは別に二重ローンを抱える被災事業者の債権を買い取る「東日本大震災事業者再生支援機構」への政府保証5,000億円も手当てしました。さらに食と農業の支援策として、農業法人が行う新規就農者への実践研修等経費(23億円)、大規模化に伴う農地や水利施設の整備(801億円)、農産物の加工等施設・機械の整備、輸出促進(108億円)、加工する農畜産物の貯蔵施設等の共同整備(245億円)などへの支援を盛り込みました。また、医療・福祉関連では70~74歳の医療費の窓口負担を1割に据え置く(1年延長)ための経費(2,719億円)や待機児童解消などに取り組む都道府県に交付(1年延長)する「安心こども基金」(1,270億円)、新型インフルエンザワクチン等の購入費(91億円)などを盛り込みました。

衆院予算委で政権交代の成果を検証 (2月9日)

2月9日の衆院予算委で武正公一議員は①政権交代の意義②マニフェスト選挙の意義③マニフェストの実現度【表】④国際人権規約の高等教育無償化条項批准の留保撤回⑤地域主権改革⑥災害救助法(2条)⑦防衛相発言⑧与那国島の防衛識別圏の見直し——について野田佳彦首相ら関係閣僚に質しました。①②について野田首相は「やったこととできていないことを国民に説明していく」「次の選挙で、一つのわが政権の業績として示す」と強調。③について岡田克也副総理は「マニフェストが全然できていないという印象がかなりあるが、それは間違い」と指摘したうえで、高校

マニフェストの達成状況(平成23年8月26日現在)	
合計件数 約180項目(一部重複あり)	
実施・一部実施	56%
着手済み(実施前段階のものを含む)	79%
未評価	15%
未着手	6%

授業料の無償化や農家の戸別所得補償、求職者支援制度の創設、生活保護母子加算の復活、NPO寄付優遇税制の大幅拡充、パッケージ型インフラの輸出といった具体的な成果を挙げました。武正議員が主張し続けている④については玄葉光一郎外相から「撤回するという方向で調整するよう事務方に指示した」との言質を引き出しました。⑤関連ではハローワークの職業紹介などと地方自治体の就労・生活相談などを一体的に行う取り組みについて質問。ハローワークから28の地方自治体に求職情報が提供されている実績を踏まえ、武正議員は「地域主権・地方分権が進んでいることも国民に説明していきたい」とうったえました。⑥については市町村への義援金配布や、県外へ移住した被災者の賃貸住宅入居などを円滑化するため、災害救助の主体に都道府県だけでなく、市町村も加えるよう提案。⑦では田中直紀防衛相の自衛官増員の意向を明らかにする一方、⑧では沖縄返還後の初の与那国島の防衛識別圏見直しも民主党政権の実績であることを明らかにしました。

東日本大震災復興の司令塔となる復興庁が2月10日、発足しました。同庁は市町村が策定する復興計画への助言や特区認定、復興交付金(国費1.56兆円)の支給、関係府省の調整などの支援業務をワンストップで行います。さらに岩手、宮城、福島の前3県にそれぞれ同庁の出先機関となる「復興局」を設置、現地での支援関連業務をワンストップで担います。



浅野目 義英(県議・浦和区)
昭和33年生まれ
民主党・無所属の会幹事長
県土都市整備委員会

**民主党埼玉県第一区
地方議員並びに
県政・市政担当者**



井上 将勝(県議・見沼区)
昭和54年生まれ
民主党・無所属の会
環境農林委員会
予算特別委員会



神崎 功(市議・緑区)
昭和30年生まれ
民主党さいたま市議団
民主党埼玉県連副代表
総合政策委員会、議会改革推進委員会



原田 健太(市議・浦和区)
昭和42年生まれ
民主党さいたま市議団政策調査会長
大都市行財政委員会委員長
文教委員会



三神 尊志(市議・見沼区)
昭和55年生まれ
民主党さいたま市議団
総合政策委員会副委員長
見沼田圃将来ビジョン委員会



高野秀樹(市議・岩槻区)
昭和35年生まれ
民主党さいたま市議団副団長



松岡 耕一(緑区・県政担当)
昭和51年生まれ
民主党埼玉第1区総支部幹事

**岩槻・浦和・緑・
見沼区で**



小柳 嘉文(市議・浦和区)
昭和40年生まれ
民主党さいたま市議団
市民生活委員会
見沼田圃将来ビジョン委員会



武田 和浩(市議・見沼区)
昭和36年生まれ
民主党さいたま市議団
市民生活委員会
地下鉄7号線延伸事業化委員会



石田 昌生(緑区・市政担当)
昭和35年生まれ
民主党埼玉第1区総支部幹事